

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。



中山小学校3年
中川 瑛斗

心を合わせた大なわ

ぼくたちは、大なわをしていきます。前の人に続けてすべにとべる人もいれば、なかなか中に入ると、入るのもむずかしい人もいます。ぼくは、なわを回す役を引き受けることにしました。「みんながとびやさいように回そう。」

と思いました。タイミングが合わない人には、こちらでタイミングを合わせて回しました。すると、みんながどんどん上手にとべるようになった。自分がとべるような気分になつてうれしかったです。

でも、Aさんがなかなかとびこができませんでした。体育の時間、2チームにわかれ、5分間で何回とべるかきこつことになりました。

「はい、はい、はい。」とおうえんしました。すると、自分でも入ることができました。でも、なわに引っかけました。

「入れたね、すこいちゃん、よかったね。あとはとびだけだよ。」

とみんなもうれしそうでした。

その言葉にはげまされたのか、次からは自分で入ってとびこができました。「やったあ。」

みんな拍手をしようよしました。

Aさんがとべたことでみんなの気持ちも高まり、数える声も大きくなっていききました。

いよいよ本番になりました。最初からみんなで声をそろえて数を数えました。引かかる人がいても、「ドンマイ。」

と明るく声をかけ合いました。数が百に近づいてくると声が大きくなっていきます。

「・・・」

みんな声はずんでいきます。

「ブーン」

笛が鳴りました。ぼくたちは、百十四で勝ちました。先生がぼくたちのところに来られて、「上手だね。回し方もよかったです。」

「たから勝つたと思うよ。」と言われました。ぼくは、わかってもらえてうれしかったです。

ぼくたちは、友だちがとべたことをみんなでもうこんだり、声をかけ合ったりして、相手の気持ちを考えようとしてきました。

これからの生活でも、思いやりの気持ちをもって生活して、みんながやさしい中山小でありたいです。

【先生からのコメント】

友達の立場になって、励ましたり、優しく声をかけたりできるのは、とてもすばらしいことです。これからも相手のことを自分のこととして考えられる人であり続けてほしいです。

広報やながわ

令和4年3月15日号 No.404

発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
 ●編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
 ●URL <https://www.city.yanagawa.lukuoka.jp/> ●e-mail kouin@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

広報やながわ

柳川

Public relations magazine of Yanagawa

3 / 15

2022.No.404



YOU・遊の森公園 (元国鉄柳河駅跡)、平成30年撮影



目言神社付近 (坂本町)、令和3年撮影



弁天の桜並木 (大和町血垣開)、令和2年撮影

桜名所 さるきませんか

寒さが和らぎ、日中の日差しが暖かくなってきました。例年3月下旬に見頃を迎える市内のサクラ。この季節に運動を兼ねて、少し市内を歩き回ってみませんか。少し出歩けば、きっと足が止まる春の風景に出会えるはずですよ。

CONTENTS	ページ
愛犬に年に一度の愛情一本	2
市の組織一部変更、市民アンケート	3
有明海図画ポスター、危険家屋ほか	4-5
お知らせ掲示板	6-7
人権・同和教育シリーズ	8